

あすてらすネットワーク

情報Market^{まーけっと}

第2号

2004.1 1月

- MENU

あすてらすお届け講座～報告～… P 2～3

男女共同参画リーダー養成講座（基本学習編）参加者の声… P 4

ネットワーク会員リレートーク、お便りコーナー… P 5

情報ライブラリー ブック&ビデオ テーマ「女性と労働」… P 6～7

島根県女性相談センターからのご案内… P 8



あすてらすお届け講座～報告～

あすてらすお届け講座は「あすてらすは遠くてなかなか利用できない」という地域の団体のみなさんと共催し、毎年県内各所で講座を開催しています。今回、8月と9月に開催された講座についてご報告します。

津和野町 「みんなで学ぼう男女共同参画社会」

(8月29日(日) 津和野町民体育館)

津和野町連合婦人会・JA女性部津和野支部・津和野商工会女性部

講師：ねぎぼうず S A Y O 西宮小夜子さん(一人人形芝居の公演)

猪野郁子さん 島根大学教育学部教授(講演「男女共同参画社会って何?」)

島根県の西の玄関であることを誇りに思い、津和野町女性団体では、水をきれいにする町民運動に始まり、環境問題、消費者問題、同和人権問題、時代を担う子どもの健全育成、健康を守る活動など、様々な活動に取り組んでいます。

今回は、男女共同参画社会の実現に向け「あすてらすお届け講座」を開催する運びとなりました。当日は町内外の各所で色々な行事が重なっていたにもかかわらず、総勢151名のみなさんに参加していただきました。西宮小夜子さんの一人人形芝居は、持ち前の明るさと元気はつらつのエネルギーが伝わる公演でした。古くからの生活習慣について熱演さ

れ、参加者みなさんの心のシワが少し緩んだのではないかなと思います。猪野郁子さんの講演は、誰もがいきいきと、人間らしい生活をしていける社会について、身近なことから考え直し、やさしいことから変えていくことを丁寧にお話ししていただきました。

女性3団体がひとつとなり、津和野町、津和野町教育委員会の協力もあって、盛大に行うことができました。実り多く素晴らしい講座になったことを嬉しく思うとともに、男女共同参画社会について身近な視点から意識改革を進めていきたいと思います。

(津和野町連合婦人会代表 有田キミ子)

邑智町 「生き生きと輝く男と女」

(9月4日(土) ゴールデンユートピアおおち)

MK - club

講師：多々納道子さん 島根大学教育学部教授

(講演「男女が一人ひとりの価値観で多様な生き方が尊重される社会を目指して」)

木村かなえさん 東京キッズアカデミーダンスインストラクター(運動実技指導)

私たちMK - clubは、元々はフィットネスを通じて集まった仲間ですが、メンバーはひとつの物事に対する情熱!(を注ぐ)という想いが共通しており、プラス思考の行動に(実行へ)と移し、様々な活動を行っています。

今回、地域で毎日一所懸命働いている人に、いきいきと健康に生活していくことを提案する「お届け講座」を開催しました。多々納さんの講演では、昔の時代から現代社会の男女のギャップや認識の違いについて、行政が取り組む「男女共同参画」とは何かを、解りやすくお話し頂き大変参考になりました。

難しく聞こえる言葉でも、内容はごく自然に誰もが取り組めるものであると理解出来ました。木村さんからは、楽しくリズムに乗って身体を動かすジャズダンスやストレッチの指導をして頂き、気持ちの良い汗をかきました。

参加者のみなさんからは、男女共同参画社会への認識を深めることができ、貴重な体験ができた感想をいただきました。私たちもこの講座で学んだ経験を生かし、今後も地域やまわりの方々に、益々元気を与え続けられる会でありたいと思います。

(MK - club代表 貝谷万里子)

平田市 「人間力アップ講座

～わたしOK、あなたOKで行こう～

(8月29日(日) 平田市立セントラルハウス)

ひらたネットステーション

講師：金香百合さん HEAL(ホリスティック教育実践研究所) 所長

ひらたネットステーションの活動も、今年度7年目を迎えました。理論に籠もってはいは地域の人々の賛同を得られず、実践に走ればポリシーは何処へ……と批判され、とかく活動しにくいのは土地柄なのか、はたまた力不足なのか……。男女共同参画という言葉の持つ難しさに難儀しながらの活動です。

そんな中で昨年、「あすてらす」で参加した企画力養成講座。金香百合さんのポジティブな生き方に深い感銘を覚え、また活動への勇気と力を与えていただきました。

この感動を一人でも多くの方と共有したいとの思いで「お届け講座」の申請をしたところ、採択していただき、予算面でとても無理と思っていた講座を開くことが出来ました。その日の参加者は約40名。決して多くはありませんが、それぞれが前向きに自分の暮らし、はたまた人生を真摯に考えている人達であったと思います。学校の授業のような受け身の形ではなく、それぞれが自らの生き方、考え方に思いを巡らせるようなやり方で、楽しく有意義な時間を持つことが出来ました。

受けとめ方は千差万別ですが、これからの各自の

生き方の指針となり得た講座であったと確信しております。

(ひらたネットステーション代表 平田明子)

～人間力アップ講座に参加して～

当日は19歳になる娘と二人で参加しました。(講座の主催者の方たちも同じ年頃の娘さんたちに受付を担当させておられたのが印象的でした。)日々報道される殺伐とした事件や私たちを取り巻く日常生活の中で、金さんの言われる「自尊感情(私もあなたもOK)」の必要性が問われているような気がします。ともすると若い世代の人との係わり方を非難しがちな傾向がありますが、今の社会を動かしている私たち大人も実践できているかどうか考えてみないといけなと思いました。(大田市 Hさん)

お話をただ聞くだけでなく、その場で隣り同士になった方とともに体験してみることで、聞いたことが自分の中にちゃんとおちてきました。ペアを組んだ方に親近感をおぼえ、友達が増えたような感じがして、とにかく楽しかったです。参加して元気が出ました。(松江市 Yさん)

平成16年度 あすてらすお届け講座

今年度は8団体のみなさんと共催し講座を開催しています

東出雲町 10月17日(日) 東出雲町立町民会館
東出雲町女性がつくる地域会議「せせらぎの会」
「知っておきたい女性の身近な法律
～いざというときに、一人で悩まないために～」
講師：水野彰子さん(弁護士)

旭町 10月31日(日) 旭センター
旭町連合婦人会
「学んでつなぐ男女共同参画」
講師：猪野郁子さん(島根大学教育学部教授)

西ノ島町 11月23日(火) 西ノ島町ノアホール
ひめぼたるの会
「男女共同参画による人づくり・地域づくり
～次世代のために今やらなければならないこと～」
講師：宇津崎光代さん(ミセスリビング代表取締役)

広瀬町 11月27日(土) 広瀬中央公民館
輝く女性ネットワーク
「男女共同参画・・・共に生きる社会をめざして
～人間、みんなががってみんないいと感じられる世界を～」
講師：もりいさむさん(みずこうぼう代表)

柿木村 平成17年1月 柿木村基幹集落センター
かきのきむら男女共同参画ネットワーク
「男女がともに活躍できる社会をめざして」
講師：佐賀女性の会、
馬場三恵子さん(佐賀市男女共同参画室長)



あすてらすでは開館（平成11年）以来、学習啓発活動を毎年行っています。

今年度はリーダー養成講座として開催し、基本学習編を8月～11月にかけて、計7回実施しました。リーダー養成講座は、鳥根県における男女共同参画社会実現に不可欠な視点を養い、主体的に考え行動していくための力を修得することを目的にしています。基本学習編に続いて、応用学習編、実践学習編と段階的な学習が可能なカリキュラムを用意しています。今回、基本学習編の講座に参加された方々の声をお届けします。

平田市 玉木優子

私の想い

毎回の講座に参加した帰り途、美しい多伎の海を眺めながら、私の中に何かが蓄積されていく充実した気持ちになります。時には共感できる内容のものであったり、物足りなさがあり消化できない内容のものであっても、自分がそこに行くという姿勢に気持ちが充たされているせいかもしれません。（今回の講座でも）

家事と格闘し、時間を切り詰めて行く私を見つめ続け、その想いを何かに結びつける事業をしてほしいと「あすてらす」に望んでいます。



（8/21・8/22 講師：伊田広行さん）

大田市 山崎

「男らしさ」の弱さを学ぶ

世間では伝統的な男らしさが相変わらず堂々と主張されています。男は結婚して家庭を作り家族を支える、というのが男らしい生き方だと言われてきました。しかし、この結婚難の時代、都会でさえ女性に相手にされない男性が増えていくというのに、掃いてすてるほどの過疎地の老若未婚男性はど

うなるのでしょうか。どうやら男性女性に関係なく、結婚する以前にシングルで自立した生き方ができる人間しか、幸せになれない時代が来てしまったように思います。



（9/5 講師：小川真知子さん）

大田市 ペンネーム 秋桜

あすてらすネットワーク会員、初めての研修会に参加して

「あすてらすネットワーク会員」リーダー養成講座を同時に申し込み、リーダー養成という名に少し抵抗はありましたが…いよいよ伊田広行さんの講座の初日。私は伊田さんの名前も顔もこの時が初めてでしたが、内容は興味深く、好感を持ちながら聴講しました。伊田さんのシングル単位な考え方については、たいへん共鳴するところもありましたが、さて我が家だったら、この田舎ではどうかなと考えると理解しがたい面もありました。でもまた次回を楽しみにしています。



（9/18 講師：稲生田妙子さん）

大田市 ペンネーム 風湖

結婚とは何か、結婚とは当然か

私の中にずっとあった疑問で、自分なりに「当然ではない。しなくても良い。」と結論を出していました。しかし、周囲に理解されず、その考えに自信も持てず、悩んでいました。

今回の講座で、私の考えは肯定された気がします。さらにその根拠から「シングル単位」という理想的な発想を教わり、感動しました。また、私と同様の考えの方が多くいらっしやることもわかり、嬉しく思いました。自分に自信を持つ勇気をももらった気がします。



（9/19 講師：上田育子さん）

研修参加レポート

基本学習編は「家族・人間関係」「メディア」「労働」「女性と人権」の4つの視点から学ぶ講座でした。11月6日の公開講座では、他の回よりも男性が多く参加されており、熱心に質問をされていました。次回はぜひあなたもご参加下さい。
情報 Market 編集委員 涼風

安来市 米原賢治

走りながら考える

あすてらすネットワーク会員になったのは、平成13年度に「女と男のもっと変わろうセミナー」を受講したことがきっかけでした。この講座は、各参加者がグループワークを通じて、自己表現を身につけることができるような工夫がなされていました。それ以降、年に1～2回程度、あすてらすの主催する講座に参加し、いろいろな活動を進めるヒントを毎回いただいています。

ところで、私は地元のまちづくりを市民の視点で考える民間ボランティアグループ「安来市まちづくり協議会」に入って、活動をしています。一口に「まちづくり」と言っても、裾野が広く、何から手を付けていいかわからなくなる時も、「何をすべきか」など、理論立てて活動を考えすぎると、無理が出てきます。講座でもらったヒントの中に、がむしゃらに、何事も「走りながら考えていけばいいじゃないか」というのがありました。そう考えるようにしたら、活動が楽しくなってきた気がします。みなさんも、是非「走りながら」でも、いろいろなことにチャレンジしてみてください。何か新しい自分が見つかるかもしれませんよ。



【地域活動の一環で地元で頑張る女性を取材（左が米原さん）】

東出雲町 野々内さとみ

夢ケナフの活動

私がケナフと出会ったのは、1998年5月でした。地球を守る大切な種と言って手渡され、蒔いて間もなく、ケナフ製名刺を電器店の人に差し出されたときの驚きと衝撃が事の始まりです。10月に全国ケナフサミットに参加し、様々な立場の人がケナフの研究に取り組んでおられる事、真剣になりすぎて深刻になってはいけなないとパネラーの一人が言われた事で肩の力がすーっと抜け、自分のスタンスで一歩ずつやっていこうと決めました。

1999年6月“気楽に無理せず楽しんで”をモットーに「ひがしいずもケナフの会」が立ち上がりました。毎年テーマを決めて活動しています。今年は「ケナフで守る地球環境」とし、種苗の配布、ケナフ畑管理、活用法の周知、体験会、学習現場、他地域への協力、研究・学習を通して環境に対する意識を深め、循環型社会への貢献を目指しています。全国の仲間と情報を共有し、老若男女80名は発見する喜びや感動をパワーにして、ケナフの魅力の輪を広げています。



お便りコーナー



映画「めぐりあう時間たち」が好きです。2回見ました。最初はあすてらすで昨年度開催された第2回男女共同参画セミナーで、次はビデオ店で借りて。その後、私たちのグループ「ビデオで女性学」の仲間と話し合いをしました。最初見たときは、内容も脈絡ないように見えよくわからなかったのが、再度見てみんなで話し合いを重ねていくうちに、だんだん作品の持つ

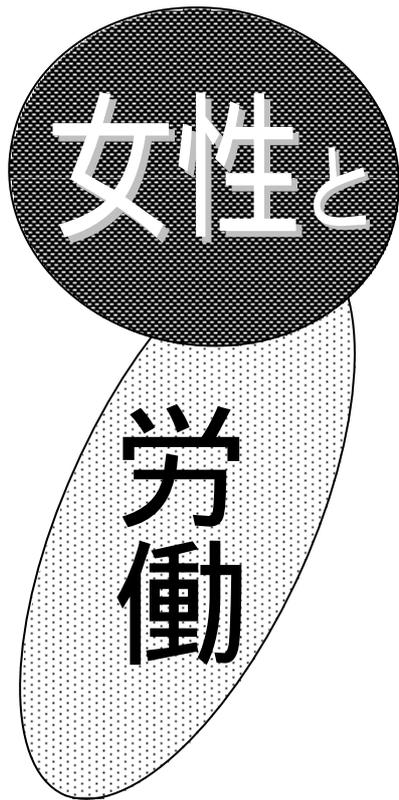
奥深さに惹かれました。

自分を生きるということ、社会が自分に求めている生き方。その差に気づき、悩み揺れる。普段気づかない、たとえ気づいていてもフタをしまっている内なる叫びを呼び覚ませる映画のように感じました。
(多伎町 安井)

MEMO

映画 めぐりあう時間たち(2002年・アメリカ)
監督 スティーヴン・ダルドリー
出演 ニコール・キッドマン ジュリアン・ムーアほか





(TQC)は、一度としてなされたことがない/男の質を上げなくては、女性が休める家庭は作れないし、その能力も半減する」

(涼風)

「好き」を仕事にした女たち 120

ラ・セーヌ特別編集 学習研究社



好きなことを仕事にした女性たち。「好き」という気持ちはもちろん、発想力、計画性、資金のことなども重要である。それら乗り越え、現在進行形で取り組んでいる人の表情は輝いている。それにしても何とたくさんの職があるのだろう。輝きのヒントが見つかるかも。

(neko)

アジアに生きる女性たち 女性労働者との交流十五年

塩沢美代子監修 広木道子著 (株)ドメス出版



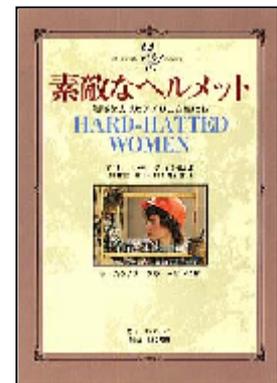
衣料品、電化製品以外にも、バッグ、おもちゃ、文房具など、身のまわりにはアジア製のものがある。

ふれている。その多くは日系企業である製造工場働く女性たちが、グローバル化を支えてきた。彼らが自立して歩み始めようとしている今、日本の若い世代はそれと連携していけるのだろうか。

(白くま)

素敵なヘルメット 職域を広がったアメリカ女性たち

M・マーティン編 原美奈子訳 萩原みどり監修 (株)パンドラ



トラック運転手、警察官、現場監督、建設機械操縦者、板金工、消防士…。アメリカの女性たちが、様々なブルーカラーの分野を開拓し、自己実現していることに驚く。きっかけは色々だが、努力をおしまず学び訓練を受け、ステップアップを図ってきた姿が素晴らしい。同僚として一緒に働くことで偏見を正してきた男性たちの存在、同じ職場職域での女性たちのネットワーク、母～自分～娘と続く闘いがより良い未来を作りだしていく。忘れてはならないのは、アメリカ社会がアフーマティブ・アクションとして職場に女性の雇用義務を課していること。14人のインタビューなので読みやすく、楽しい。元気が出る一冊。

(涼風)



女が会社で

辛淑玉著 (株)マガジンハウス

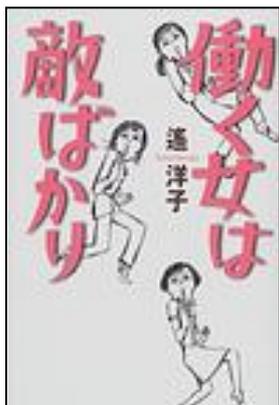
職場でウツウツと落ち込んでいひと、フツフツと怒りがわいていひと、女、ぜひ読もう。不当さの底の底を体験した上で、会社と社会に直言する辛さんのスゴさは、必ずあなたに元気を呼び戻す。



「企業は男性社会/まず先にやらなければいけないのは…内にいる女性を活用すること/女性と共存できない企業は、もちろん外国とも…マイノリティとも共存できない」「日本の男の品質管理

働く女は敵ばかり

遙洋子著
朝日新聞社



性差別のない社会「フェミニズム」を「フェ」と称し、わかりやすく解説している。働く女に立ちあがる壁にどう対処したらいいのか？また「男女共同参画社会基本法」とは「どうすればいいんだろうね？」「なれるといいね」という思いを具現化することだと述べている。 (マー君)

女は男のそれをなぜセクハラと呼ぶか

山田秀雄著
角川書店

「ひとつの言葉をほめ言葉とられるか、セクハラと解されるか。

それは二人の距離によって全く違ったものになる。」これは人間関係の基本。著者はルールの認識の誤りを説く。セクハラ加害者にならないための男性必読書。

(ハッシー)

7人の母、国会に行く ひきこもり、 障害児者とともに

黒岩秩子著
築地書館



若き頃は学生運動、保育の仕事、地域ではひきこもり、障害者を支援してきた彼女が参議院議員になった。「ものを決定する場に女性を入れてこなかったツケ」と言い放ち、国会では、ハンセン病、精神医療、小児医療、在外被爆者など、多くは手を付けられてこなかった

重い課題にメスを入れてきた。決定的場に女性が半数を占めるなら、人間が生きる事のできる社会を作れるという。 (白くま)

その仕事、好きですか？

南ゆかり著
(株)ワニブックス



“この仕事を「好き」と思う瞬間です” “何があってもずっと、この仕事を好きでい続けていると思う” …、そんな彼女たちが見つめているものは？たくさんの写真からは「好きな仕事してる？」という問いかけ。文句を言いながら働く人よりも、堂々とかっこいい。自分を振り返り、次の世代への贈り物を探し出せるかも。

(白くま)

VIDEO/VIDEO/VIDEO/VIDEO/VIDEO/VIDEO/VIDEO/VIDEO

アンカーウーマン (1996年/アメリカ)

監督 ジョン・アフネット

出演 ミシェル・ファイファー ロバート・レッドフォード

一度目は、出世しキャスターとしてフィラデルフィアへ発つ主人公タリーを、恋人ウォーレンが見送る。二度目は、妻となった彼女が、取材でパナマに行く夫を見送る。前者は仕事で夢を掴む女性像、後者は妻として夫を見守る女性像を象徴。この立場の違いに着目して見るのもおもしろい!! (ハッシー)

彼女を見ればわかること (1999年/アメリカ)

監督・脚本 ロドリゴ・ガルシア

出演 キャメロン・ディアス キャリスタ・フロックハート

ロス郊外に暮らす女医、作家、銀行支店長、占い師、刑事、いずれも独身。彼女たちはキャリア・経済ともに、男性には頼らず独力で築いてきた。彼女たちが、ふと立ち止まるとき、たくさんの恋ではなく、本当の愛を求める自らの気持ちに気付く。そこでは、純粋な戸惑いを見せる彼女たちを、応援したくなる。 (白くま)

島根県女性相談センターからのご案内

Q 女性相談センターってどんな相談に応じているの？

こんな時にご相談ください。

- * 夫・結婚・離婚・男女間のことで悩んでいるとき
- * 家庭内の不和やいざこざで悩んでいるとき
- * 近所や職場などの人間関係で悩んでいるとき
- * 夫や恋人からの暴力で悩んでいるとき
- * 誰に相談してよいのかわからないとき

あすてらすには「島根県女性相談センター」があります。さまざまな悩みを抱えて一人ではどうしてよいかわからなくなってしまったら、どんな小さなことでも相談してください。女性の相談員と一緒に考えて、問題を解決するよう努めます。

Q あすてらすまで行かなくてはだめ？

相談の方法は色々あります。あなたのご都合でお選びください。

- * 電話相談・・・誰でも気がねなく匿名で相談できます。
- * 面接相談・・・直接相談においでください。
- * 巡回相談・・・市町村の心配ごと相談に相談員が出向きます。
- * 専門相談・・・弁護士による法律相談があります。電話でご予約ください。



12月の相談

| 相談の種類 | 相談日 | 時間 | 相談員 | 場所・連絡先 |
|-------|--------|-------------|--------------------|--|
| 電話相談 | 月～金曜日 | 9:00～16:00 | 女性相談センター 女性相談員等 | 相談専用ダイヤル TEL: 0854-84-5661 |
| 面接相談 | 月～金曜日 | 9:00～16:00 | 女性相談センター 女性相談員等 | 電話予約または直接女性相談センターへおいでください |
| 法律相談 | 21日(火) | 13:30～15:30 | 射場弁護士 | 要予約 お申込みは女性相談センターへご連絡ください TEL: 0854-84-5661 または0854-84-5591 |

こちらでも相談に
応じています

松江健康福祉センター TEL 0852-25-8071
出雲健康福祉センター TEL 0853-21-1192
益田健康福祉センター TEL 0856-31-9538

木次健康福祉センター TEL 0854-42-9631
浜田健康福祉センター TEL 0855-29-5544
隠岐支庁健康福祉局 TEL 08512-2-9810

しまね女性ファンド

【募集期間】平成16年12月～平成17年1月【事業実施期間】平成17年4月～平成18年3月

【問い合わせ先】 財団法人しまね女性センター事業課 TEL 0854-84-5514
公益信託しまね女性ファンド事務局 TEL 0852-22-5500

助成事業 募集開始!!

島根県環境生活部男女共同参画室のホームページ <http://www.pref.shimane.jp/section/josei/female6.htm>

「あすてらすネットワーク情報Market」へのご意見・情報をお待ちしています

住所・氏名(グループ名)・電話番号を明記の上、下記あてにお送りください。FAX、メールも歓迎です。
匿名希望の方はペンネームをご記入ください。原稿は500字以内、イラスト、漫画は葉書大以内でお願いします。
掲載させて頂いた方には500円分の図書カードをさしあげます。

INFORMATION

開館時間

9時～21時(受付時間は9時～17時まで)

情報ライブラリー 17時まで

ニューメディアスペース 19時まで(土曜・日曜は17時まで)

休館日

毎週月曜日・国民の祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

ただし、宿泊施設については、日曜日・国民の祝日・年末年始(12月28日～1月3日)

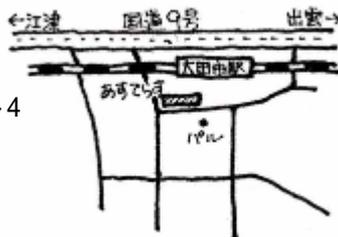
島根県立男女共同参画センター

あすてらす

〒694-0064 島根県大田市大田町大田イ236-4
TEL 0854-84-5500(代) FAX 0854-84-5589
URL <http://www.asuterasu.pref.shimane.jp/>
E-MAIL asu-12@asuterasu.pref.shimane.jp

発行/財団法人しまね女性センター

編集/情報Market編集委員 表紙イラスト/おくのあけみ



編集後記

リアルタイムで見る災害報道に、どきどきすることの多い秋。日々の暮らしの大切さ、危機管理の必要を改めて考えさせられました。

生きることに男女の差はないはず。そこで、あすてらすが「困ったとき」に支えあうための知識の宝庫となり、そのコーディネーターとなってくれるといいですね。

(白くま)
